



編集・発行：熊本県教育庁教育政策課
 〒862-8609 熊本中央区水前寺6丁目18番1号
 Tel：096(333)2699
 Mail：kyouikuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

子供たちを学びの主体として育てるために ～「熊本の学び」の推進～

熊本の学びの理念

熊本のすべての子供たちが、「学ぶ意味」を問いながら、「能動的に学び続ける力」を身に付けることを目指します。



「本県の子供たちを誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障する」ために、各学校において実態に応じた特色ある取組が行われています。

「やってみよう」「なるほど」「きっと」 が生まれる授業の工夫



玉名市立小天小学校

単元のゴールを「1年生に、見学旅行で一緒に行く動物園の道案内をする」とすることで、子供たちの興味・関心を高めています。タブレットの利点を活かし、どのように道案内をするか色々な道順を試すなど、子供たちが主体的に学んでいます。（2年 国語）

自分に合ったペースで 課題解決に取り組む工夫



山鹿市立鹿北中学校

全体で文法の確認をした後、生徒の希望によって、基礎コースと発展コースに分かれます。基礎コースは先生のアドバイスを受けながら問題を解き、発展コースはタブレットのガイドを聞きながら問題を解いています。（3年 英語）

令和3年度 熊本県学力・学習状況調査結果

教科に関する調査結果

○ 昨年度と比較して全国平均を上回る教科が増え、全体として向上しました。（※表1参照）

学習や生活習慣に関する質問紙調査結果

○ 「先生はクラスみんなのことを、ほめたり、励ましたりしてくれる」と感じている子供の割合は、昨年度より大きく増加し、小中ともに9割を超えています。

○ 「勉強するときは、自分で計画を立てている」子供は、小学校で約6割、中学校で約5割と少なく、課題があります。（※表2参照）



～保護者の皆様へ～
 子供たちの伸びやつまずきを把握し、課題克服プリント等を活用して、学びの保障に取り組んでいきます。御家庭でも学校から配付された個人票を御確認いただき、励ましの声かけをお願いします。

（表1）全国平均正答率を100としたときの各学年・教科の結果（全国平均以上は赤字）

小学校	3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
R3年度	97.4	101.5	100.9	103.7	101.6	104.9	103.1	106.2
R2年度	98.6	102.3	101.2	107.5	97.8	102.6	102.6	106.4
中学校	1年			2年				
	国語	数学	英語	国語	数学	英語		
R3年度	100.7	96.8	96.1	99.4	99.9	95.3		
R2年度	99.7	100.1	97.6	97.3	96.2	93.8		

（表2）「勉強するときは、自分で計画を立てている」と肯定的に回答した割合

	小5年	小6年	中1年	中2年
R3年度	59.7	61.2	51.5	46.9
R2年度	61.8	59.1	51.8	46.4

※ 小3・4年は、R3年度調査なし

本調査結果の詳細は、QR又は
[コチラ](#)から御覧ください



この記事に関する問い合わせ先：義務教育課（096-333-2688）

道徳教育研究推進校の研究発表会・公開授業を紹介します

～豊かな心の育成に向けた「教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進」と「道徳科の授業の充実」～

令和元年度から菊陽町立菊陽中学校が、令和3年度から甲佐町立龍野小学校が道徳教育の研究に取り組んでいます。12月と1月にオンラインで授業公開が行われ、先生方の熱心な指導のもと、子供たちが友達の考えを聞いたり、自分の考えを表現したりしながら、自分自身を見つめる姿が見られました。

菊陽町立菊陽中学校・研究発表会

(12/6～12/20授業の様子等をオンデマンド配信)



「『考え、議論する』道徳科授業の創造～指導と評価の一体化を目指して～」をテーマに取り組んでいます。2年生の授業では、道徳教育用郷土資料「熊本の心」や「平成28年熊本地震関連教材『つなぐ』」の教材を通して、「感謝の心」や「郷土愛」について考えました。自分自身と重ねながら、様々な視点から発言する生徒の姿が見られました。

甲佐町立龍野小学校・公開授業

(1/25 授業の様子等をライブ配信)



研究テーマは、「自己を見つめ、よりよい生き方につながる道徳教育の創造～自分事として考え、共に学び合う道徳科の授業づくりを通して～」です。児童の道徳性を育てるため、体験活動等と関連付けた道徳科の授業づくりを行っています。3年生の授業では、役割演技を通して、自分の生活を支えてくれている人々への感謝の気持ちについて考える姿が見られました。

この記事に関する問い合わせ先：義務教育課（096-333-2688）

令和5年度熊本県公立学校教員採用選考考査について

1 日程及び内容

(1) 第一次考査

日程：令和4年7月10日（日）

内容：筆記試験（教職科目、専門教科等）＜全校種・職種＞、実技＜中・高音楽、美術、保体＞

(2) 第二次考査

日程：令和4年8月14日（日）及び8月15日（月）～19日（金）の指定した日

内容：論述、個人面接等＜全校種・職種＞、実技＜中・高英語、高家庭＞

2 主な変更点

(1) 年齢制限の変更（59歳以下の方が受考可能）

(2) 加点制度の拡大（小・中両方又は特別支援学校の教諭免許状取得見込の方も対象）

(3) 中学校家庭の実技考査を廃止

※詳細は、5月上旬頃に発表する実施要項で確認してください。



3 パンフレット等について

(1) パンフレット

本考査のパンフレットを学校人事課（県庁新館7階）や教育事務所等で配布しています（県HPにも掲載しています）。

(2) webメッセージ

先輩からのwebメッセージ動画を県HPに多数掲載しています。



パンフレット
(QR又は[コチラ](#))



先輩からのメッセージ
(QR又は[コチラ](#))

4 臨時的任用教員等について

熊本県教育委員会では、市町村立学校及び県立学校で勤務していただく臨時的任用教員等を随時募集しています。いくつかの条件を満たせば、教員採用選考考査において、教職科目が免除となる場合があります。詳細は、問い合わせ先まで御相談下さい。

この記事に関する問い合わせ先：学校人事課 096(333)2695（小中）・2694（県立）

一年間の成果として－学校情報化認定・くまもとICTコンテスト結果－

本年度から本格的にスタートした1人1台端末を活用した授業。子供たちも先生たちも、「まずは使ってみる」一年間になりました。「くまもとGIGAスクールプロジェクト」として県教育委員会が指定した12市町村（25校）での授業公開も行われました。さらに、学校の情報化の指標としている学校情報化優良校に認定された学校が県下で175校（2/28現在）となるなど、確実に学校教育の情報化が広がっています。

また、ICTを活用した作品や取組を募集した「くまもとICTコンテスト（ICT活用コンテスト：県教育委員会主催）」には、294件の応募がありました。審査の結果、作品部門では鹿本高校の生徒作品が、ICT活用指導部門では高森東学園義務教育学校の取組が最優秀賞を受賞しました（受賞一覧を参照）。

今後も子供たちの学びの充実につながるICT活用を目指し、子供たちや先生たち、学校を応援していきます。



玉東町立玉東中学校（音楽科の実践）



南関町立南関第二小学校（算数科の実践）



芦北町立田浦中学校（理科の実践）

●作品部門（子供たちのICTを活用した作品を募集）受賞一覧●

【最優秀賞】県立鹿本高等学校「正解はない」

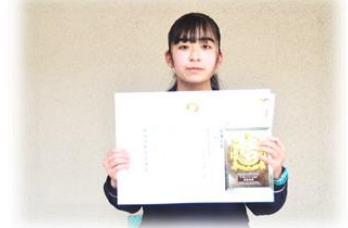
【NEXT熊本賞】高森町立高森東学園義務教育学校

「説得力のある提案をしよう（プレゼンテーション）」

【熊本市教育委員会賞】熊本市立出水南小学校「卒業する6年生、ありがとう」

【優秀賞】宇城市立松橋小学校、高森町立高森東学園義務教育学校、県立高森高等学校

県立鹿本高等学校、高森町立高森中学校、県立東稜高等学校、熊本市立出水南小学校
高森町立高森中央小学校、高森町立高森東学園義務教育学校



【県立鹿本高等学校】

●ICT活用指導部門（先生や学校のICTを活用した取組を募集）受賞一覧●

【最優秀賞】高森町立高森東学園義務教育学校

「無人販売プロジェクトを通じた教科等横断的な学習」

【NEXT熊本賞】氷川町立竜北西部小学校「学校ホームページによる積極的な情報発信」

【熊本市教育委員会賞】県立第一高等学校「オンライン学校説明会『Talk with 一高生』」

【優秀賞】合志市立西合志第一小学校、上天草市立維和中学校、県立第一高等学校



【高森町立高森東学園義務教育学校】

【12月～2月に学校情報化優良校の認定を受けた学校】2/28現在

菊池市立七城中学校（12/13）
菊池市立菊池南中学校（12/15）
芦北町立佐敷小学校（12/26）
相良村立相良北小学校
（12/26）
水上村立湯山小学校（1/5）
相良村立相良南小学校（1/11）
南関町立南関第一小学校
（1/11）
芦北町立内野小学校（1/15）
水上村立水上中学校（1/18）

芦北町立佐敷中学校（2/7）
大津町立大津北中学校（2/9）
玉名市立小天小学校（2/10）
合志市立合志楓の森中学校
（2/10）
県立翔陽高等学校（2/12）
玉名市立大浜小学校（2/13）
八代市立第三中学校（2/23）
山都町立矢部中学校（2/25）
玉名市立鍋小学校（2/25）
水俣市立湯出小学校（2/28）

山鹿市立鹿北中学校（12/15）
芦北町立田浦小学校（12/19）
美里町立中央小学校（12/26）
甲佐町立甲佐小学校（12/26）
県立高森高等学校（1/5）
山鹿市立鹿北小学校（1/11）
県立天草高等学校（1/12）
苓北町立坂瀬川小学校（1/16）
荒尾市立中央小学校（1/18）
芦北町立大野小学校（1/18）
県立人吉高等学校五木分校
（1/18）
大津町立大津中学校（2/7）
山都町立蘇陽南小学校（2/9）
甲佐町立甲佐中学校（2/10）
山鹿市立八幡小学校（2/10）
玉名市立玉陵中学校（2/10）
八代市立二見小学校（2/14）
八代市立表島小学校（2/23）
荒尾市立荒尾第四中学校（2/25）
大津町立大津北小学校（2/28）
県立天草高等学校倉岳校（2/28）

嘉島町立嘉島中学校（12/15）
菊池市立旭志小学校（12/23）
西原村立山西中学校（12/26）
あさぎり町立上小学校（12/26）
益城町立益城中学校（1/6）
宇城市立松橋小学校（1/11）
芦北町立湯浦中学校（1/12）
山鹿市立めのだけ小学校（1/18）
西原村立山西小学校（1/18）
玉名市立有明中学校（1/24）
芦北町立田浦中学校（1/31）
菊池市立旭志中学校（2/4）
山鹿市立米野岳中学校（2/7）
八代市立有佐小学校（2/9）
八代市立東陽小学校（2/10）
八代市立八千把小学校（2/10）
和水町立菊水小学校（2/10）
八代市立東陽中学校（2/23）
合志市立合志中学校（2/23）
西原村立西原中学校（2/25）
水俣市立水俣第二中学校
（2/28）

美里町立砥用小学校（12/15）
甲佐町立乙女小学校（12/24）
大津町立護川小学校（12/26）
八代市立郡築小学校（12/26）
益城町立広安小学校（1/11）
あさぎり町立あさぎり中学校
（1/11）
県立玉名高等学校（1/13）
苓北町立志岐小学校（1/18）
玉名市立玉陵小学校（1/26）
県立人吉高等学校（1/31）
県立小川工業高等学校（2/4）
八代市立代陽小学校（2/9）
南阿蘇村立久木野小学校（2/9）
玉名市立横島小学校（2/10）
長洲町立六栄小学校（2/10）
県立熊本北高等学校（2/10）
苓北町立都呂々小学校（2/13）
八代市立泉小学校・泉中学校
（2/23）
玉名市立滑石小学校（2/25）
八代市立第八中学校（2/28）

部落差別をはじめあらゆる差別をなくす熊本県人権子ども集会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年11月15日～12月17日の期間に、オンラインで開催しました。

報告校4校からは、人権教育に関する様々な取組や、差別をなくすために考えたことなどを分かりやすく発表してもらいました。また、子ども実行委員（中学生2人、高校生4人）は、オンライン会議等をとおして、集会メッセージや各学校の紹介文などを作り上げました。

初めて参加できたという学校も多く、3万人以上の児童生徒、教職員が視聴しました。

報告校	テーマ・内容	視聴した児童生徒の感想
山鹿市立鹿本小学校	「人を想うやさしさがいい明日をつくる」 新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した施設等を全校児童で励まし、学習を深めた取組。	「人にされてうれしいことは、他の人にもします」というメッセージから、積極的に人のためになることをしていきたいと思った。
県立宇土中学校	「人権が尊重される学校をつくる」 生徒が主体的にいじめ防止スローガンを作るなどの活動を行い、一人一人が大切にされ、個性を發揮できる学校づくりの取組。	私が小学生のときは、学校内のいじめをなくす取組はしていましたが、集会に参加して自分たちができることは、まだまだあるのだと思った。
県立黒石原支援学校	「みんなに伝われ！僕の想い！」 児童生徒の可能性を伸ばす取組の一つとして、生徒から「僕も頑張る、みんなも頑張れ」のメッセージを伝えたもの。	「僕も頑張る、みんなも頑張れ」というメッセージがとてもうれしかった。ありがとう。
県立翔陽高等学校生徒	「自分のことだけではなく周りのことを受け止める」 友人関係等について悩んだ経験を基に、自分を知ることや周りの人の思いを受け止めることの大切さについて伝えたもの。	人との関わりや人権の大切さなどに気付き、協力することで、きずなを深めることができることに気付いた。

人権教育研究指定校玉名市立玉陵中学校研究発表会

※文部科学省・熊本県教育委員会・玉名市教育委員会指定

令和3年11月26日（金）、オンラインによる研究発表会を実施しました。

研究主題

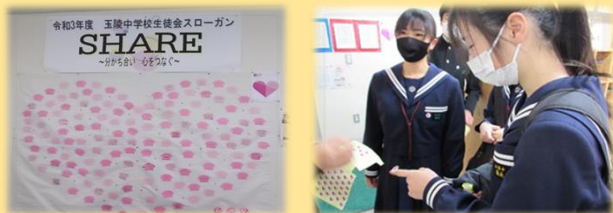
「**自他を大切にし、未来を切り拓く力を備えた生徒の育成**」
～**自尊感情を高め、自他の人権を尊重できる生徒の育成を目指して**～

自己理解や他者理解が深まる授業づくり



全ての教科において、「人権教育を通じて育てたい資質・能力」（自他の価値を尊重しようとする意欲や態度など）を設定し、授業づくりを行いました。

人権を大切にした行事等の充実



生徒から提案された「ピンクシャツデー」の取組（LGBTQを理解する取組）は、生徒会役員の働きかけで全校生徒が参加する活動へと広がりました。

自分に自信を持って行動する生徒や相手のことを考えた言動を心掛ける生徒が増え、学力向上にもつながっていると報告がありました。

この記事に関する問い合わせ先：人権同和教育課（096-333-2702）